

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

「6年生が
あこがれの存在
である学校」
・考える子
・やさしい子
・たくましい子

児童の実態

- ・読み聞かせや、読書が好きな児童が多い。
- ・調べることへの関心は高いが、調べ方がよく分からないと思う児童も多い。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ねらい

- ①意欲的に読書に励み、楽しさを味わい、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ②図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③調べたいことを探し、学校図書館の中から必要な情報を選ぶ情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 目的をもって読書に取り組み、必要な情報を探したり、自分の考えを深めたりしようとする態度の育成を図る。
- ② 朝学習の読書の時間を中心に、読み語りやブックトーク、アニメーション等を行い、読書活動の充実を推進する。

各学年の重点目標

第一学年	・好きな本を楽しんで読もうとする。 ・学校図書館の使い方を知る。	第三学年	・色々な種類の本を読もうとする。 ・図書館の中の様々な資料から必要な情報を集める。	第五学年	・読書を通して自分の考えを広げる。 ・集めた情報を比較検討し整理、発信する。
第二学年	・好きな本をすすんで読もうとする。 ・学校図書館を正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、すすんで読もうとする。 ・図書館の中の様々な資料から必要な情報を集め整理してまとめる。	第六学年	・読書を通して自分の考えを広げ深めていく。 ・集めた情報を基に、新しい課題を見付けたり生活に生かそうとしたりする。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 読書指導を行い、読書週間を身に付けさせ「本好きな子」を育てる。
- 様々な教科で調べる学習を取り入れ、「本で学ぶ子」を育てる。

〔読書科〕

- 「ブックトーク」や「アニメーション」等の活動を行い読書への意欲を高める。
- 調査・発表スキル学習を通して、本で学ぶ楽しさや有用性を学ぶ。

〔総合的な学習の時間〕

- 教科等の発展的学習や、問題解決・探究的な学習をし、児童一人一人が自ら学び自ら考える力を育む。

〔特別活動〕

- 図書委員会の自発的な活動を支援し、読書活動推進を図る。

〔特別の教科 道徳〕

- 物語の登場人物の心情を想像したり、考えたりする中で自分を深め、道徳的心情を育む。

〔家庭・地域との連携〕

- 図書ボランティアによる読み語りを実施する。
- 図書ボランティアと連携し、図書整備を進める。

朝読書の推進

図書環境の整備・充実